

厚塗り下地調整モルタル

# ダイナミックス

## #300

JIS A 6916 CM-2 規格適合材(タイル下地材として)

- 各種仕上げ材の下地調整に薄塗りから厚塗りまで幅広い範囲の用途で使用可能。
- コテ塗り、吹き付けで優れた作業性と仕上り性を発揮し、作業効率の向上と工期の短縮が図れます。
- 施工後、気候の変化に影響されず長期安定性に優れ、十分な接着性も発揮します。

### ● 性能試験 ※建築用下地調整塗材JIS A 6916 2000 に準拠

試験項目	試験結果	JIS A 6916 [CM-2] 品質規定
軟度変化(%)	5.8	± 20以下
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	7.1	5.0以上
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	24.5	10.0以上
付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	標準養生時	1.0以上
	低温養生時	0.7以上
吸水量(g)	0.3	2 以下
透水量(m $\phi$ /h)	0.3	0.5以下
長さ変化(%)	0.131	0.15以下
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性(N/mm <sup>2</sup> )	表面状態	割れ、膨れ及びはがれは認められない 割れ、膨れ及びはがれがなく、付着強さが1.0以上であること
	付着強さ	
仕上材が陶磁器質タイルの場合の耐久性(N/mm <sup>2</sup> )	1.2	付着強さが0.6以上であること

### ● 標準仕様

商品名	適用下地	適用部位	適用仕上げ材
ダイナミックス #300	コンクリート ブロック モルタル	内・外壁 床(廊下、ベランダ等)・ 手摺り天端	陶磁器タイル※1 モルタル※2 クロス 仕上げ塗材※1 Pタイル タイルカーペット
			標準調合
ダイナミックス #300	25kg	5 ~ 15 mm	約2m <sup>2</sup> (10mm厚)
シーラー-N #45	1.5kg		
清水	6kg		

※1 モルタルに塗りつける場合は、塗り厚を6mm以下にして下さい。

● 荷姿     ダイナミックス #300 ..... 25kg/紙袋

# ダイナミックス

厚塗り下地調整モルタル

#300

## 標準施工方法

### 1 下地処理

下地コンクリート面のレイタンス、脆弱層、油分、汚れ等をワイヤーブラシやサンダー掛けなどで除去した後、水洗いをするなどして、強靱な素地を出して下さい。

※浮き・剥離の原因になりますので、下地の清掃は入念に行ってください。

### 2 吸水調整

下地の吸水調整のため、下地清掃後に「シーラー-N#45」の3~5倍液をスプレー或いは刷毛などでムラなく塗布して下さい。

※ドライアウトの原因となりますので、希釈倍率を厳守して下さい。(下地への急激な吸水を調整するため)

### 3 混練り

予め所定量の「シーラー-N#45」を希釈した標準混合水(5倍液)を少なめに混練容器にとり、ダイナミックスを加えながらモルタルミキサーで混練りして下さい。ついで、残りの混合水を少量ずつ加えて適正な軟度に調整して下さい。

※強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守して下さい。

### 4 塗り付け

施工箇所にコテ圧をかけて下地に擦り込むように塗り付けて下さい。所定の厚さまで塗り付けて下さい。仕上げ材の種類によって、金ゴテ押え・木ゴテ押え等を行い仕上げして下さい。

※浮きや剥がれの原因となりますので、「ガリッ」としごくように擦ってから所定の厚さに塗り付け、1回の塗り厚は標準仕様の塗り厚を厳守して下さい。

※標準仕様の塗り厚を超える場合は2回以上に分けて塗り付けて下さい。その際、工程間隔は1日以上として下さい。但し、全面塗りの場合は、1回の塗り厚を8mm以下として下さい。

### 5 養生

施工後は通常1週間、冬期2週間以上の養生期間をおいて下さい。

※ドライアウト防止

乾燥が激しい場合は、施工の翌日に散水養生を行ってください。

※白華防止

梅雨・冬期時は塗り付け後、降雨・降雪に遭うと白華発生の恐れがあるのでシート掛け養生などの適切な防止策をして下さい。



### 取扱い時の安全対策(概要)

#### [1] 取扱い及び保管上の注意

・目や皮膚などに触れないように適切な保護具(保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等)を着用して取り扱ってください。また、取扱い後は顔、手、口などで洗浄して下さい。

・製品は屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

#### [2] 応急処置

・目に入った場合: 直ちに清浄な水で最低15分間洗眼し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

・皮膚に付着した場合: 速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

・吸引した場合: 速やかに新鮮な空気のある場所に移動し、水または温水でうがいし必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

・飲み込んだ場合: 水でよく口の中を洗うなどして、直ちに医師の診断を受けて下さい。

[まずは、飲み込まないように注意して下さい。]

#### [3] 濾出時の注意

・飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋などに回収して下さい。

#### [4] 廃棄上の注意

・廃棄する製品や混練り材などは硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水などの排出は水質汚濁防止法などに注意して下さい。

#### [5] 輸送上の注意

・破袋、荷崩れ、落下などの防止を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。



### 使用上の注意事項

1. 本品は厳重な品質管理のもとに製造している既調合品です。指定材料以外の材料を練り混ぜないで下さい。尚、混練りには水道水などの清水を使用して下さい。
2. 混練りした材料は夏期1時間、冬期2時間以内に使用して下さい。練り足しや加水して練り直しをしないで下さい。
3. 強風や直射日光などによる乾燥を防止するために、シート養生などの適宜な措置をして下さい。
4. 本品使用時の施工は、気温が5℃~35℃の範囲内で行って下さい。
5. 製品の製造年月日を確認し、製造から6ヶ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。

※安全についての記載は現時点で入手できた資料及び情報にもとづいて、通常の取扱いを対象に作成しています。しかし、現場での結果を保証するものではありません。安全には十分にご注意の上お取扱い願います。

プレミックスの開発メーカー



株式会社 豊運



ISO 9001:2008

本社 〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目12番4号

TEL 06-6708-8132 FAX 06-6769-2801

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004 岡山営業部 TEL 0868-38-4001 FAX 0868-38-7022  
大阪営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133 京都営業課 TEL 0771-86-0711 FAX 0771-86-0811

URL: <http://www.ho-un.co.jp/>

※本カタログに記載されたデータ・仕様・施工方法等は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

15.06DAI(2版)